



85歳を迎え、記念品を受ける参加者

いつまでもお元気で

敬老の集いをカメリーナで開催

平成28年度敬老の集いは9月10日、カメリーナで開かれ、町内の70歳以上の高齢者ら約600人が参加しました。式では、前後公町長と小檜山ナミ子町婦人連絡協議会長があいさつした後、各地区の代表者に記念品が贈呈されました。

引き続き行われた演芸では、町婦人連絡協議会の皆さんや中の沢保育所、さくらこども園の子どもたちが舞踊や歌などを披露。会場からは盛大な拍手が送られました。



白虎隊の演舞を披露する中の沢保育所の子どもたち



ステージ上の演技に拍手を送る参加者



さくらこども園園児のリズム発表



1_火点めがけて放水を行う1番員の遠藤豊さん(左)と2番員の五十嵐史朗さん(右)。中央で鳶口を構えるのは、3番員の鈴木一史さん 2_6月の練習開始時から県大会出場を目標に掲げ、チームをけん引した指揮者の佐瀬暁さん(右)と正確な機械操作を披露した4番員の半澤義之さん(右から2人目) 3_大会終了後、重圧から解放され、笑顔を見せる第5分団の選手たち



第5分団が大健闘

県消防操法大会で第4位に

第40回福島県消防操法大会は9月4日、福島市の県消防学校で開かれました。8月の北会津消防操法大会で優勝した町消防団第5分団がポンプ車操法の部に出場。14チーム中、第4位の好成績を収めました。指揮者を務めた佐瀬暁さんは「町大会、北会津大会、県大会と、どれも納得できる操法をすることができました。長い間、協力してくれた皆さんに感謝します」と話しました。



交通事故の根絶に向けて

交通安全町民大会

第23回町交通安全町民大会は9月25日、町農村環境改善センターで開かれ、約150人の参加者が交通事故の根絶に向けて決意を新たにしました。前後公町交通対策協議会会長が「地域一丸となって交通事故防止に取り組む」とあいさつ。大会席上では、交通安全功労者や交通安全ポスターコンクールなどの表彰が行われたほか、ふくしま被害者支援センターの熊田真市専務理事が「民間団体における被害者支援について」と題し、講演しました。



前後会長から表彰を受ける星時雄さん(右から2人目)

新田サノさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

9月25日に100歳の誕生日を迎えた新田サノさん(百目貫)への賀寿贈呈式は同日、新田さんの自宅で行われ、家族らが長寿を祝いました。中村宗宏会津保健福祉事務所副所長、前後公町長が賀寿や記念品などを贈りました。サノさんの長寿の秘訣は3食きちんと食べること。また、散歩などで体を動かすことを心がけているそうです。孫の美幸さんは「地域の人たちの支えがあり、100歳を迎えることができました」と感謝を述べました。



前後公町長から賀寿を受ける新田さん(左から2人目)

交通安全は家庭から

第26回交通安全母親福島県大会

第26回交通安全母親福島県大会は8月26日、学びいなかで開かれ、県交通安全母の会連絡協議会の会員ら約500人が参加しました。大会では、齋藤和子会長が「交通事故のない社会を目指しましょう」とあいさつ。内堀雅雄知事が「母親のきめ細やかな心配りで、交通安全に取り組まれていることに感謝します」と祝辞を述べました。山崎信子名誉会長の講演の後、悲惨な交通事故をなくすための大会宣言が採択されました。



あいさつを述べる齋藤和子会長